

## 1 中期学校経営方針

### (1) 学校教育目標と教育課程全体で育成を目指す資質・能力

学校教育目標	教育課程全体で育成を目指す資質・能力
心優しく たくましく ～ 共生・思いやり・自主自立・課題解決 ～	自分を見つめ、生き方を考える

### (2) 中期取組目標

中期取組目標
<p>○自分を見つめ、生き方を考える力の育成を目指します。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自己肯定感を高め、他者を理解できる力の育成を目指します。</li> <li>・夢や目標をもち、生き方を追求する姿勢を育てます。</li> <li>・自主的に学ぶ力の育成を目指します。</li> <li>・コミュニケーション能力の育成を目指します。</li> </ul>

### (3) 学力向上に向けた重点取組分野・具体的取組

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	新3観点を意識した授業展開をし、主体的・対話的で深い学びを実現する。実現する為に、全職員が『授業力向上校内研修』を積極的に取り組み、授業力を高め合う。また、新たに改訂された市学状の分析チャートを活用することで、生徒に適した指導方法を職員一人ひとりが考える。
担当	総務部・研究

## 2 横浜市学力学習状況調査等からの実態把握

### (1) 学力の概要と要因の分析

本校では例年、横浜市の平均をほぼすべての教科で上回る状況が続いている。これは保護者や地域の協力などで、生徒たちが落ち着いた環境の中で日々の授業に取り組めていることが大きな要因であると考えられる。

しかしながら、低学力層の生徒が一定数いることも事実である。この層を減らすことで学校全体の底上げが可能となるため、結果をPDCAサイクルに乗せながら、各学年が放課後に行う学習支援を充実させることで課題解決に繋げていきたい。

### (2) 生活意識調査の分析

本校では以前から『自分づくり教育』を推進してきた。その成果は『自分には良いところがありますか』という質問に対する回答が経年変化で見ると毎年改善傾向にあり、今後も継続していくことは重要である。

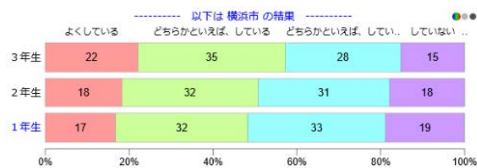
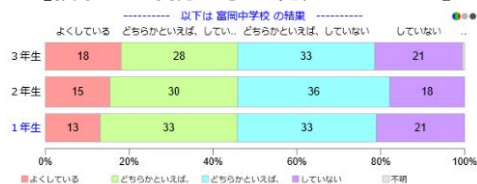
しかし、『授業では、自分の考えを発表していますか』の質問に対しては『している(どちらかといえば含む)』と回答した生徒の割合が横浜市の平均を下回っている。平均を上回る学力をもちながら、この結果になるところに本校の課題があると考えられる。

この質問に対する回答を各教科の学力層ごとに比べると、低学力層の『発表していない』の割合が極端に多いことがわかる。これは、ほぼすべての教科において同様の結果が出ている。

ここから本校には『失敗を恐れずに取り組むことができる環境』が足りないと考えられる。

今後は成功体験を得られる場面を増やすことで生徒が自信をつけつつ、他者を思いやる心も同時に育てる必要があると考えられる。

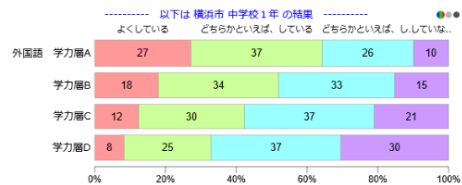
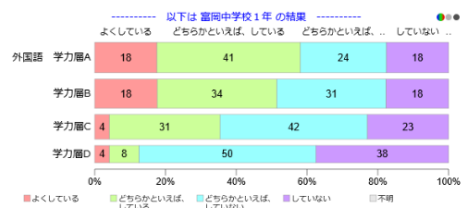
#### 【授業では、自分の考えを発表していますか】



#### 【授業では、自分の考えを発表していますか】

##### の質問に対する学力層ごとの回答 例. 外国語

4 授業では、自分の考えを発表していますか。



### 3 令和3年度 学年・教科等として育成を目指す具体的な資質・能力と具体的取組

	育成を目指す 具体化した資質・能力	具体的取組	
		前期	後期
国語	目的や意図に応じて伝えるべきことを整理し、表現する力	知り得た情報を基に、話の内容を捉えたり、自分の考えをまとめたりしたものを、的確な場面で表現できる場を設定する。	
社会	情報や知識を整理し、自らの考えを導き出す力 他者の考えを尊重し、視野を広げて社会を捉える力	資料やデータを整理し、他者との意見交換などを経て、自分の考えを深め、表現する場を設ける。	
数学	共生の精神と思いやりの態度をもって学び合い、課題解決する姿勢	具体的な日常の事象を題材にして、数学的な考えを意識させる。また、生徒たちが活発的な話し合いを持てるような環境を設定する。	
理科	新しい知識や問いを作り出し、思いや考えを伝え合う力	習得した知識を実験や生活の中での事象に結び付け、仮説を立て、論議し、考察し、自らの考えを表現していく場面を設定する。	
音楽	表現を創意工夫できる感性と技能	音楽のよさが感じ取れる場を重視し、仲間と協働する中で自分なりの表現を生み出そうとする学習場面を設定する。	
美術	作品制作・鑑賞を通して自分らしさを発揮しようとする姿勢	自分なりに表現、制作をし、良さや美しさを考えたり、発見したりすることを重視した学習を展開する。	
保体	仲間との共同による課題発見と問題解決 健康安全への理解	基本的な生活習慣の定着と体力の向上に向けて、各自が課題を見つけ、仲間と共同し、問題を解決していく場面を設定する。	
技・家	生活を工夫し創造しようとする態度	生活や技術についての基礎的な知識、技能を身に付ける学習を行う。	
外国語	伝えあう喜びを知り、自主的に学ぼうとする力	生徒がコミュニケーションを行う目的や場面・状況などを自ら設定し、主体的に表現し、伝え合う学習場面を設定する。	
道徳	伝え合うことで自分の考えを深化させる力	体験的な活動のねらいを道徳科の時間と関連付け、主体的に考え、多面的・多角的に議論する道徳科の授業を展開する。	
特活	学校生活へ自主的に参画する姿勢	集団の一員として、課題を見出し、その解決のために話し合いで合意形成を図ったり、意思決定を実践できる活動を設定する。	
総合	自分を見つめ、生き方を考える力	実社会、実生活との関わりを多面的に捉え、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探求活動を主体的・対話的に繰り返し、高められる学習を展開する。	
個別級	個々の課題に対応する力 様々な情報を活用・選択する力	個別の指導計画に基づき、個々の実態に応じて授業形態や学習集団の構成を工夫し、指導の充実を図るようにする。	